

報道関係各位

件 名 阿須山中土地有効活用事業の進捗状況について

阿須山中土地有効活用事業については、本市の地方創生の取組をさらに推進する民間活力を生かした事業として、最優秀提案事業者である一般社団法人飯能インターナショナル・スポーツアカデミーにおいて事業実施に向け、準備を進めております。

本事業の進捗状況については、以下のとおりです。

1 進捗状況について

森林法による林地開発許可申請の手続について、事業者において、埼玉県と、引き続き事前相談を進めています。

本市では、事業者と連携をとりながら、事業の進行管理を行ってまいります。

2 その他

○「加治丘陵の自然を考える会・飯能（代表 長谷川順子氏）」からの署名と質問書の提出について

令和2年5月1日、加治丘陵の自然を考える会・飯能から、飯能市長宛てに、「飯能市阿須山中土地有効活用事業」の中止と白紙撤回を求める署名 7,216 筆（直筆署名 3,501 筆、ネット署名 3,715 筆）とともに、質問書が提出されました。

※直筆署名（3,501 筆）の内訳：市内在住 51%、市外在住 49%

○今までの経緯と本市の考え方

阿須山中公共用地（以下「阿須山中」という。）は、本市が飯能市土地開発公社（以下「公社」という。）に依頼して、昭和51年度から平成4年度にかけて先行取得した岩沢地内、阿須地内の公共用地約45haのうちの約17haにあたる土地になります。

本市では、阿須山中を除く周辺公共用地については既に公社から買戻しを行い、阿須運動公園を開園、飯能市民体育館を開館、飯能市民球場を開場、トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園を開園し、本市のスポーツ・レクリエーションゾーン、文教ゾーンとしてそれぞれ整備してまいりました。しかし、阿

須山中については、有効な利活用方策が見いだせず、買戻しをするには至っておりませんでした。

そのため、平成 24 年度に策定した土地開発公社の経営健全化計画に基づき、令和 4 年度の公社の解散を目指し、阿須山中は、埼玉県ふるさと創造貸付金を活用し、平成 24 年度からの 10 年間で約 20 億円をかけて、公社から買戻しを行っているものです。

当該土地の利活用方策については、暫定的に自然公園としながらも買戻し後 10 年間のうちに検討することとしていましたが、飯能市議会議員の皆様からのご意見、ご提案などを踏まえ、庁内でも十分に検討したうえ、本市では、民間事業者提案制度を活用し、自然公園に限定することなく、地方創生の観点から広く民間事業者からの提案を求め、有効な土地利用を図ることとしたものです。

阿須山中土地有効活用事業は、阿須山中を本市の貴重な資産とみなし、民間活力による土地利用計画の提案を幅広く求め、優れた土地利用計画を提案する事業者当該土地を貸し付けることで、新たな財源の確保や財政負担の軽減を図りながら、本市の地方創生の取組をさらに推進するため、土地の有効活用を実現できる事業者を公募したもので、公正な審査の結果、最優秀提案事業者として、一般社団法人飯能インターナショナル・スポーツアカデミー（以下「アカデミー」という。）を選定したものです。

アカデミーの事業内容は、世界的なサッカー選手を輩出した世界的サッカークラブの選手育成プログラムを導入して、この飯能の地から世界に羽ばたくサッカー選手を育成すること、それに必要なサッカーグラウンドを建設するとともに、その建設に必要な開発コストとクラブの運営に必要な運営コストを調達するために、付帯事業として太陽光発電事業を実施するものです。

本事業の実施に当たっては、事業者は、阿須山中土地有効活用事業の趣旨を十分理解し、それらを実現するために、主体となって取り組んでいます。

事業者においては、地元住民の皆様に対して、複数回の説明会を開催し、ご理解、ご協力をいただきながら、事業実施に向け各種手続を進めているところです。

本市としても、市民の代表である市議会議員の皆様に対し、ご説明申し上げるとともに、市ホームページ、報道等により広くお知らせしながら本事業を進めてまいりました。

約 20 億円という費用をかけて買い戻す阿須山中の利活用方策については、本市が「消滅可能性都市」から脱却し、「発展可能性都市」へ、そして「発展都市」へ向かい地方創生の取組を実現させるためには、本事業は、必要な事業で

あると考えます。

○質問に対する本市の回答

質問に対して、①阿須山中公共用地買戻しの経緯、②阿須山中土地有効活用事業者公募の経緯、③阿須山中土地有効活用事業に関する本市の基本的な考え方、④最優秀提案事業の概要、⑤事業の進捗状況、⑥自然保護、環境保護に関する基本的な考え方、⑦総括（まとめ）を加えたうえで、別紙のとおり回答しました。

担当者	管財課長	町田 真一
連絡先	Tel	042-973-2111 (内線 280)